

いとまん 市議会だより

第137号

令和7年
9月5日発行

= 令和7年第4回(6月)定例会 =

戦後80年糸満市議会 平和宣言を可決しました

戦後80年糸満市議会平和宣言

本年、私たちは戦後80年という節目を迎えました。

1945年、この地・糸満は、沖縄戦最後の激戦地となり、国籍や立場を問わず多くの貴い命が失われました。家族を、友を、故郷を、一瞬にして失ったあの夏。悲しみと痛みは、今もこの大地に刻まれています。

「命どう宝」、命こそ、何ものにも代え難い大切な宝である。

これは、戦争を生き抜いた人々の魂の叫びであり、私たちに託された言葉です。

戦争は、命を奪い、人間の尊厳を踏みにじります。

どんな理由があろうとも、命を犠牲にすることは決して許されません。

人間には、平和のうちに生存する権利があります。

その当たり前の権利が、戦争によつて無残にも踏みにじられた過去を、私たちは決して忘れてはなりません。

今も世界では、戦火や暴力、分断の連鎖が絶えません。

だからこそ、戦争の残酷さと悲惨さを経験した私たち糸満の地から、全ての命が等しく貴いという揺るぎない「命どう宝」の精神と、平和を希求する沖縄の「平和の心」を、世界へ、未来へと伝え続けます。

ここに糸満市議会は、市民とともに、恒久平和への願いと決意を込め、次のことを宣言します。

一、戦争の記憶を風化させず、「命どう宝」の精神をもとに、沖縄の「平和の心」の継承、「平和を創り出す主体」を育てる取組を進めます。

一、沖縄戦の実相と教訓を広く発信し、沖縄の「平和の心」、み霊の眠る「平和の杜(もり)」の誓いを国内外へ伝えていきます。

一、全ての人が平和のうちに生存する権利と尊厳が保障される社会、分断ではなく対話を、対立ではなく共生を大切にするまちづくりを進めます。

糸満市議会は、戦争のない未来、生命尊厳の社会をつくるため、歩みを止めず、市民とともに進むことを、ここに強く宣言します。

以上、決議する。

令和7年6月20日

糸満市議会



令和7年第4回(6月)定例会

第4回定例会は、6月3日から6月20 日までの18日間の日程で開催されました。
同定例会には、市長から令和7年度一般会計補正予算(第1号)などの議案9件、報告4件の提出がありました。

また、議員提出議案として、意見書等2件の提出がありました。
議案等の処理結果については、12 ページに掲載してありますので、御参照ください。



令和7年度一般会計補正
予算(第1号)

本案は歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億2369万円を追加し、歳入歳出予算の総額を367億3360万円とするものです。

主な事業は次のとおりです。

○水道事業会計繰出金

3221万円

○定額減税補足給付金事業

1億1410万円

○農業用資材等臨時支援事業
(物価高対策)

4800万円

○セグロウリミバエ緊急防除事業

190万円

○観光農園推進対策費

9025万円

○水産業経営緊急対策事業
(物価高対策)

7
6
7
万
円



議会改革調査特別委員会

本案は現教育長の「屋良朝俊」（やら ちようしゆん）氏の任期が、本年8月3日をもつて満了することに伴い、引き続き同氏を教育長として任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求められたものです。

9月定例会において、糸満市議会ハラスメント防止条例を提案することが決まりました。

糸満市教育委員会教育長の任命について

高嶺小学校移転改築事業
の入札不調説明のための
調査特別委員会

教育委員会及び財政課に再発防止策について説明を求め、質疑を行いました。また、これまでの審査内容を報告書にまとめていくことが決まりました。



意見書等

第4回定例会では2件の意見書等を可決しました。

戦後80年糸満市議会平和宣言について

表紙に決議文を掲載しています。

高額療養費制度の負担上限額引上げの撤回を求める意見書の提出について

あて先：衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、厚生労働大
臣



公有地（字糸満194
3番37）処分に係る
調査特別委員会

9月定例会において、最終報告を行うことが決まりました。



夏休み期間中の8月19日に糸満小学校、真壁小学校、米須小学校・三和中学校大度分校の学習環境などを確認しました。

総務委員会（所管事務調査）

／ 議会を傍聴してみませんか、どなたでも傍聴できます／

9月定例会は、右記の日程で開催を予定しております。

傍聴を希望する方は、本会議当日、市役所4階本会議場までお越しください。

傍聴するに当たっては、議事に支障を来しますので私語を慎み、携帯電話のマナーを守りましょう。本会議中は庁舎1階ロビーのテレビでも放映しています。

(098-840-8100)



令和7年第5回（9月）定例会会期日程（案）

9月8日(本会議)	開会、各議案の提案
9月9日～11日(委員会)	委員会等
9月12日(委員会)	先議案件委員会採決
9月16日(本会議)	先議案件採決
9月17日(委員会)	委員会等
9月18日～24日(本会議)	一般質問
9月25日(委員会)	委員会採決
9月26日	議案整理
9月29日(本会議)	委員長報告、採決

※議会だより作成時点では正式に決定していないため、
変更になる可能性があります。(土日、祝日は休会)

目の不自由な方に「声の議会だより」届けます。

● 目の不自由な方に糸満市議会の情報を届けるため、糸満市議会だよりをCDに吹き込み配布しております。

詳しくは、議会事務局議事係までお問い合わせください。

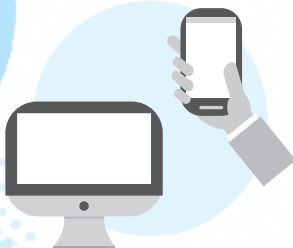


糸満市議会のホームページで本会議の映像が視聴できます。

糸満市のホームページから糸満市議会の本会議(ライブ・録画)を視聴することができます。

詳しくは市議会のホームページに掲載されますので、御確認ください。

また、過去の会議録の検索・閲覧や全議案の賛否の一覧、議会だよりについても掲載されておりますので御利用ください。



糸満市議会

🔍 検索

市政を たたく

一般質問

令和7年第4回定例会では、6月12日、13日、16日、17日の4日間にわたり、19人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧頂けます。



導入に向けての取組を伺う。
経済部長 県が令和8年度の導入を目指している宿泊税について、現時点で独自導入を予定していない本市含む市町村は、県が徴収する税収から配分を受けることになっており、この場合県と市の配分割合は1対1、一方独自導入する市町村は2対3と配分割合が高くなる仕組みである。これまでの情報を基に本市宿泊税収を試算したところ、県が導入した場合約5769万円、本市が独自導入した場合6922万円と独自導入の方が増収となることとが算出された。しかし、独自導入を行った

宿泊税導入について



金城 一文 議員



観光振興のために少しでも多くの財源確保が求められる

場合の人件費やシステム費用などを踏まえた収支は、増収額とコスト額が相殺され、現時点で大きな差が生じないとの結果になった。本市においては現時点で運用面や業務フローなど詳細な情報が不足しており、独自導入については県の動向や他市町村の状況を踏まえ、慎重に進めていく必要があると認識している。
金城 最初は県と一緒にやって、途中から独自導入に変更するのは可能か。
経済部長 可能である。
金城 人件費も職員ではなく会任職で試算したり、最新のホテル稼働率など、前提条件が変われば数字は変わっていく。職員の負担などいろいろな状況を見極めた上で、最善の方法を選択していただくとともに、最初から方向性を決めるのではなく状況に応じて見直しを図っていただきたい。

地域行政について



玉城 良 議員



潮崎地域に不動産を購入された中国人の方が市長に要望書を提出したと聞いているが、その内容を伺う。
市民健康部長 要望書等について過去13年分を確認したが、提出の確認が取れなかった。
玉城 遊具に関する寄贈の陳情や相談はあったか伺う。
建設部長 遊具に関する相談はあった。
玉城 では寄贈は受けるというところか。
建設部長 受ける、受けないは今後調整していきたい。
玉城 今回私が市民から聞いたのが、潮崎は私たちのまちだとか、中国の方による自治会をつくらせてほしい、潮崎の海辺を管理させてほしい、



潮崎町

中華街をつくらせてほしいという内容を市長に陳情したとの話を聞いたので、そういうことがあったら止めてくれと市民から言われていた。先ほどはないとのことだったので確認だが、万が一こういう陳情や相談があった場合、市長としてどのように対応するか伺う。

市長 仮定の話については答弁を差し控える。

玉城 最後に申したいのは、全国でも水源地や空港周辺が土地問題でいろいろ騒がれているのは記憶に新しい。本市でも例外ではないという中で、市の土地を守る上で、市長にも危機感を持っていたらいい、経済安全保障上の問題を含めて、市民からの声でもあるので、今後対応を考えていただきたい。

農業行政について



金城 敦 議員



農村集落基盤再編整備事業・高嶺地区の進捗状況を伺う。

経済部長

現状、事業化に向けて国や県と協議を重ねているところであり、今後は各地域に説明を行いながら、事業計画の具体化を進めていく。地域の居住環境やコミュニティをより豊かなものにすることを目指しており、引き続き地域の方々には御理解と御協力をお願いしていきたいと考えている。

金城

与座地区では過去、土地改良区の農道アスファルト舗装工事計画もあったが、途中でなくなっている。半分の工事しかできていない。この事業で舗装工事もできるか。

事業で舗装工事もできるか。



早急な対応が求められる

経済部長 当事業においては制約が厳しいものとなっていることから、農業用道路の舗装だけの工事については補助対象外である。なお市内では土地改良事業が完了した地区の農道が未舗装の状況が多数あることから、農業基盤整備促進事業や農地耕作条件改善事業などを活用した事業化について、沖縄県と調整していきたい。

金城 新しい事業が2つもあるという中で、ぜひこの事業を採択してもらい、この地域でアスファルト舗装ができるようお願いする。土地改良が終わって30年近くになるが、まだまだたくさん舗装工事がされていない場所があるので、ぜひ早めに対応をする。

農業行政について



徳元 敏之 議員



真壁東第2地区土地改良事業について、ヤブガラシは確認できたのか伺う。

経済部長

土搬入時には確認できなかったが、令和7年4月に開催した一時利用地指定の説明会の際、農家の方から混入している旨の情報があり、会議終了後に農家の方々と沖縄県の担当職員が現地を確認したところ、発見されている。

徳元

市職員も県職員も目を光らせてやっていくべきだと思うが、今後の対策はどのようになっているのか伺う。

経済部長

地域や関係機関と調整を図りながら、沖縄県が作成したヤブガラシ類の防除マニュアルに基づき、除草剤

マニキュアルに基づき、除草剤

散布などによる防除作業を実施していくと聞いている。市としても地権者及び県と協力しながら、防除対策が円滑に進められるよう取り組んでいきたいと考えている。

徳元 今後も対策が非常に大切になってくる。地権者に対し、明確な防除対策を図ってもらいたいと思うが、見解を伺う。

経済部長

これからの土の搬入については、県、地権者、推進委員などと連携を図りながら、気をつけていきたいと考えている。

徳元

ぜひ農家の皆さんが困らないように、対策をしっかりとやってもらいたい。除草剤も散布していくということなので、農家の負担にならないように今後とも続けていて、防除対策を十分にやってもらいたいと思う。



ヤブガラシ

第32回WBSC U-18 野球ワールドカップ in 沖縄について



長嶺 安浩 議員



①沖縄県開催の経緯。②西崎球場が第2会場に選定された理由を伺う。

経済部長 ①プロ野球9球団が春季キャンプを実施している沖縄の受入れ体制、環境が高く評価されたことなどが挙げられる。また戦後80年を迎える節目の年であることから、スポーツと国際交流を通じて世界平和を推進する一環として沖縄で開催される運びとなった。②メイン会場である沖縄セルラースタジアム那覇から30分以内であることやナイター設備などが挙げられ、最終的に主催者側による球場視察が行われ決定されている。

長嶺 本大会の日程等について伺う。



機運醸成のため公用車に貼り付けているステッカー

経済部長 9月5日から14日の期間で、12か国が2つのグループに分かれて試合を行う。**長嶺** 機運醸成を高めるための市の取組を伺う。

経済部長 市民の皆様と一体となって大会を盛り上げられるようポスター掲示などの広報活動を徹底していく。さらに市民参加型イベントとして本市で合宿が予定されている日本代表による市内小中学生を対象とした野球教室や幼稚園・保育園児を対象とした体験イベントも企画しており、将来スポーツ選手を夢見る本市の子供たちに大きな夢と希望を与えたいと考えている。**長嶺** この大会が成功されるよう、我々議員も全面的にバックアップしていく。

福祉行政について



玉城 博光 議員



地域デイサービスについて①中央型から地域型へ移行するに当たり、地域の意見などは確認したか伺う。②地域型へ移行した場合のその指導は誰が行うのか伺う。③市地域デイサービス連絡会で、地域型移行の説明を受けた自治会が疑問を示したと聞いたが、その声は聞いているか伺う。

市長 ②スタッフを派遣する提供型の活動から指導者がいなくても住民が主体となり活動できる通いの場を推進しているが、地域によって活動内容や課題は様々である。ヒアリングシートを基に住民主体で活動を行うための方法を地域の皆様と一緒に考えていく。

副市長 ①市はプッシュ型出



地域デイサービス(中央型)の様子

前講座を実施し、利用者方へ説明を行っている。また、現在利用者へのヒアリングシートの提出を依頼している。③連絡会に担当課職員が参加しており、自治会からの御意見を伺っている。**玉城** 先日参加した中央型男塾で渡されたヒアリングシートの裏面には、今の中央型運動教室の終了後となっている。中央型の廃止は決定なのか伺う。

副市長 国の高齢者対策大綱に基づき、進めているが、住民主体で活動を行うための方法を地域の皆さんと一緒に考えていく。

玉城 あくまでも地域の取組や利用者の意見も聞きながら、市民と一緒によりよい方向に取り組んでいくと受け止めた。

道路行政について



大城むつみ 議員



①座波82番地前の道路冠水対策の進捗状況を伺う。②市道座波阿波根線のサクラビア前の横断歩道と滑り止め舗装の進捗状況を伺う。③市道狭間線の工事予定を伺う。

市長 ①座波82番地前の道路現場を確認したところ、側溝等の排水機能がない里道であったため、集水ますを設置し、埋設管で近くの側溝に排水する工事を5月末で完了し、冠水解消の対策を終えている。

建設部長 ②サクラビア前の横断歩道については、糸満警察署に要請済みであるが、滑り止め舗装については、効果やその他の路面標示等の対応も含め検討し、他地域の交通安全施設対応との兼ね合いを



交通量が多いサクラビア前の道路

見ながら今年度の予算措置状況を鑑み対応したいと考えている。③市道狭間線東地区については、現在のところ、令和11年度より事業開始予定である。

大城 座波82番地の道路冠水については、私も確認したが、側溝への排水機能もしつかりし、地域住民の方も喜んでいいる。サクラビア前の横断歩道も糸満警察署に要請していることと、路面標示も兼ね合いを見ながらやることで、対応に感謝する。狭間線については、もう少し早く着手できないか。

建設部長 現在整備中の路線が街路も含めると10路線ある状況を踏まえると、先ほど答弁したとおり事業開始は令和11年度となる予定である。

①昨年(2024年)における市内の特殊詐欺被害件数及び被害額、警察への通報件数と市への相談件数を伺う。②特殊詐欺の未然防止に向けて、スマートフォン向けアプリやLINE公式アカウント、SNSを活用した注意喚起など、デジタルツールを活用した新たな取組への対応状況を伺う。

市民健康部長 ①糸満警察署に確認したところ振込詐欺等を含めた特殊詐欺で件数6件、被害406万8000円、SNS型投資・ロマンズ詐欺で件数14件、被害額6974万4000円となっている。警察への通報件数は提供に時間を要するとのこと



山内 竜二 議員

特殊詐欺への本市の
対応について



である。市への相談件数は、7件となっている。②現在、SNSでの周知は行っていないが、今後、糸満警察署と連携し市のLINEにおいて周知を行っていく。

山内 特殊詐欺は、巧妙化、多様化が進み、市民の生命や財産を脅かす深刻な社会課題である。特に高齢者を狙った被害は後を絶えず、一層の対策強化が求められている。質疑を通して、市として警察署と連携し、広報手段としてLINEやSNSなど、デジタルツールの活用を積極的に進めていくことが確認できた。安心して暮らせる糸満市の実現に向け、今後とも市と地域社会が一体となった取組をよろしく願います。



被害防止のための連携強化が必要となる

高齢者福祉行政について



伊敷 郁子 議員

2万円程度の費用負担のある自治体や無料で実施している自治体もある。④本市の設置については進んでいないが、他自治体の実施方法等を調査し、各関係機関との調整を図っていく。

伊敷 私が最初に質問したのは7年前だが、その間多くの市町村が長寿大学を実施しており、糸満市も見習ってやっていたみたい。私はこれからの社会は、高齢者のマンパワーをいかに活用していくかが行政にも企業にも、そして地域活性化にも重要であると考えている。出生率も減っており、どんどん高齢化社会になつていく。だからこそ、高齢者の意識の改革や、新たなスキルを身につけるための方策の一つとして長寿大学が必要だと思う。



地域活性化を推進するために長寿大学の設置が求められる

介護行政について



前田 潤 議員



介護報酬の本体部分は、消費税対応部分を除いた実質でも創設時から5・13%も削減され、事業所の逼迫を招く重大な要因となっている。日本共産党は介護職員の賃金を公費で全産業並みに引き上げるため、国庫負担を緊急に10%引き上げを提言している。莫大な軍事費を削って介護、医療、福祉、教育、子育て支援を拡大し、充実すべきである。市の見解を伺う。

副市長 本市としては高齢者が元気で生き生きと活動でき、たとえ介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、介護、医療、福祉等に係る支援の充実が重要だと認識している。



医療、福祉、教育等の支援拡充を

前田 自治体から国へ直接物申すことはできないのか、全国市長会から国の福祉予算を増やすように提言をされたらいいかが。よろしくお願いしたい。物価高騰の中で国民所得の伸びが追いつかない。全国のこども食堂は全国の中学校の数より多いと言われている。大人の貧困がそのまま子供の貧困につながっている。自民党政府はそのような中において、福祉切捨て、軍事費拡大である。国の農業予算は30年前よりも1兆円減った。農家の経営が苦しくなり、米農家の減反で米不足になって高騰した。軍事費は3倍の8兆7000億円である。今やるべきことは消費税減税、インボイス廃止で国民の購買力を高め中小業者を元気にすることである。

真壁南土地改良区内における農道整備について



金城 幸盛 議員



農業基盤整備促進事業や農地耕作条件改善事業などを活用し、農道整備に取り組むべきと考えるが見解を伺う。

市長 市内では、区画整理事業が完了した箇所のほとんどの地区で幹線道路は整備されているが、区画内の農道が未舗装のため、大雨時に砂利が農地へ流れ込み、路面の浸食などで通行に支障を来している状況である。議員提案の事業などを活用した事業化については、他の完了地区と合わせ真壁南地区も含めた区画内のアスファルト舗装や排水路の整備を事業化するに当たり、県と調整していきたい。

幸盛 農業基盤促進事業や農地耕作条件改善事業について



高率補助を活用し早急な整備を

て、国、県、本市の補助率を伺う。

経済部長 それぞれ補助率は同じで、国80%、県6%、市14%となっている。なお、事業別に採択要件が異なる。

幸盛 事前の調査設計費用も補助対象となるか。

経済部長 事前の計画図書等の作成については補助対象外となっている。

幸盛 この農道整備については5月23日、公明党の高橋真県議と共に沖縄県の担当課からレクチャーを受け、当該事業の活用が可能であること、事業採択に向けては、県も本市をサポートする意向があることを確認している。ぜひとも早期事業化への取組を強く求めるが、見解を伺う。

経済部長 次年度の計画に向けて進めていきたい。

パヤオの紛失抑制に向けたDX導入と関連予算の合理化について

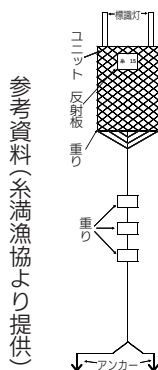


関屋 安莉 議員



①直近5年間でどれぐらいのパヤオが失われているか。②新たに1基製造・設置する場合の費用と市の補助額。③「ナビシステム」を把握しているか、その効果に対する評価はどうか伺う。

経済部長 ①糸満漁協からの助成要請の際の報告では12基のうち4基が流出したとのことである。さらに、その後の確認において、今年3月までに新たに2基が流出したとの報告を受けている。悪天候時の波浪の影響やタンカー船等の大型船のスクリューの巻き込みによるロープの切断等が原因ではないかと考えている。②税抜き559万8000円に対し、



魚礁(パヤオ)

194万1000円の補助金を予算計上している。③設置主体である糸満漁協にて八重山漁協での導入状況を確認している。漁協としては、導入費や維持費が高額でないか懸念しており、このため、本年度敷設予定のパヤオへのGPS機器の試験的導入について協議・検討を進めているところである。

関屋 私独自の調査では、ナビシステムのGPS機器は1台当たり約42万円を導入できるとができれば、十分に元が取れることは明らかだ。スマート水産交付金を活用して1基トライアルする考えはないか。

経済部長 事業主体となる糸満漁協に、スマート水産交付金の情報提供を行う。

公益通報者保護法について



浦崎 暁 議員



①概要。②5月に消費者庁から通達があったと思うが、その内容。③本市の取組について伺う。

総務部長 ①労働者等が公益のために通報を行ったことを理由として解雇等の不利益な取扱いを受けることがないようにするため、保護の内容と通報先、事業者や行政機関が取るべき措置を明確にしたものとなっている。②同法が行政機関に求めている措置の内容についての確認と、必要に応じた対応の見直しを求める内容になっている。③職員からの公益通報に関して、糸満市職員等からの公益通報の処理に関する要綱を定め、人事課に窓口を設置、また、外部



厳格な運用が求められる

の労働者からの通報に関して、糸満市外部の労働者等からの公益通報に関する要綱を制定し、令和7年度から総務課に窓口を設置して、同法が行政機関に求めている措置に対応することが可能な体制を整えたところである。

浦崎 公益通報者の相談を外部に漏らさない体制、客観的に第三者的な立場でその通報を評価していくということが担保されているか。

総務部長 職員であれば人事課に窓口を置いて書類、様式で明確に誹謗中傷にならないものとか、根拠のある情報として出してもらうということでも活用している。また、総務課にあつては、民間の方々の通報者が不利益にならないように、保護に関しては厳格な制度で運用している。

西崎運動公園及び親水公園の駐車場不足について



平田 健人 議員



①屋内運動場の新設に伴い、運動公園全体の混雑状況調査を行っているか。②親水公園の一部エリアを市の管理する公設駐車場として転用・整備する考えがないか伺う。

市長 ①混雑状況調査は行っていないが、大会やイベント等の際の駐車場不足や混雑状況については認識している。今後、屋内運動場南側の駐車場を早期に整備して、駐車場不足の解消に取り組みたい。

建設部長 ②現在のところ駐車場として転用・整備する計画はない。イベント等においては、国道331号高架下駐車場の北側や南側を利用してもらいたいと考えている。



夏休み週末の駐車場の様子(体育館側)

どの声が多くある。屋内運動場を使った方からの意見だが、公園利用の促進や屋内運動場の有効活用、市民の安心と満足につながる環境整備に向けて、これからベースボールワールドカップの利用もあるとのことだったので、スピーディーな対応を求めているがいかがか。

建設部長 高架橋下の駐車場を有効活用すること、屋内運動場南側を整備して駐車台数を増やすということ、早期の対応を心がけていきたい。

平田 親水公園ももっと環境を整備すれば素晴らしい場所になるので、その視点も踏まえて駐車場整備は前向きにやっていただきたい。

総務部長

集会所の建設場所

西平 高干瀬振興会に説明した場合、この土地を振興会に与えてほしいと出てきたと思う。今回売った土地、ここに集会所を造りたいと話があったので、振興会に譲る可能性が出るため、意図的に話を出さなかったと思うがどうか。

ある。

総務部長

①高干瀬振興会からの了解は取り付けていない。②議員御認識のとおりである。

字糸満1943番37の公有地処分について

西平 賀雄 議員

という話は聞いたことがないため意図的に了解を取り付けなかったということではない。**西平** 私はこの地域で10年近く書記をしていたので、地域の方からいろいろ話が出ていた。非常に地域から注目されていた土地であった。この土地を含めた周辺エリアは、糸満市風景づくり計画で景観重要公共施設にも指定をされており、糸満漁港周辺地区風景づくりビジョンにも掲載されている。都市マスタープランを見ても周辺整備については明確にやるようになっていく。以上、複数の計画書が策定され、整備していく方針が示されている中、計画がなかったという事は通らない。そのため今回の公有財産管理運用委員会の決定は間違っていたと思う。



各種計画との整合性を図ることが求められる

教育行政について

黒島 新 議員

2018年度から文部科学省が掲げているSTEAM教育について、取組状況を伺う。**教育長** 小学校ではプログラミング教育、算数や理科などでの教科横断的な学習、中学校では課題解決型学習、いわゆるPBL授業を通してSTEAM教育に取り組んでいる。**黒島** STEAM教育は様々な分野と相性がいいことが分かっている。特別支援学級でどう活用されているか伺う。**教育指導監** STEAM教育に特化した教育活動自体は行っていないが、調査、研究を深めながら今後検討したい。**黒島** 学習指導要領にはSTEAM教育の概念と通ずるところが多々あり、そこ



文部科学省が作成した資料

を意識した教育普及をしてほしい。八重山地区の特別支援学校では科学実験、アート表現を組み合わせた活動を通して、生徒たちのコミュニケーション能力や自己肯定感の向上に好影響を与えたとの報告があり、特別支援を受ける子供にもいい影響を及ぼしている。先日訪問したサンクスラボ株式会社ではデジタル分野を中心とした教育訓練を通じて、A型就労から一般雇用に移行した就労定着率が99%と非常に高く、リモートワークを率先していた。デジタル教育は障がい、ハンディを抱える人にも非常に有効な取組と思った。GIGAスクール構想も特別支援の子供たちもより積極的にすることで将来の就労支援につながる。STEAM教育を含めた理系教育を進めてほしい。

国立自然史博物館誘致について

金城 悟 議員

①誘致活動の現状。②日本を代表する世界で活躍される学者、研究者を糸満市へお招きし、子供からお年寄りまで喜んで頂ける企画展を開催してはどうか伺う。**企画部長** ①日本初の国立自然史博物館を沖縄へ設立・誘致に向け、沖縄県は令和7年4月25日に有識者による第1回の検討委員会を開催し、誘致に関する基本方針について検討し、本年度中に基本方針を策定する予定としている。また同年5月1日に沖縄県議会において、全議員が所属する超党派議員連盟が県民会議設立について協議を行った。②沖縄県で令和6年度国立自然史博物館誘致推進事業広報



沖縄県が作成した
パンフレット

委託業務の中で企画展やシンポジウムが開催された。令和7年度もその業務が発注された場合、本市で企画展を開催することを要望していく。

金城 大阪の自然史博物館を見てすぐ感銘を受けた。アジア初、日本が沖縄に、それを私は糸満市に持ってきてほしい。国立沖縄自然史博物館を糸満市へ誘致することで、糸満市の10年後、30年後、100年後の未来を拓くことができる。糸満市が発展すること、南部振興につながり、強いては沖縄振興発展を見据えることができる。このことを踏まえ、市長を先頭に執行部、市議会、経済界、市民が一体となった具体の議論や検討を進めてはどうか。市長、提案するのでよろしく願いたい。

農業振興行政について



新垣 安彦 議員



県道7号線から阿波根集落に入る市道潮平北波平線路肩側及び同路線から保栄茂地区への農道整備について伺う。

市長 この地区は糸満市と豊見城市の行政区画内にあり、県営畑地帯総合整備事業を活用し、平成4年度から平成13年度にかけ沖縄県により整備が行われている。支線農道について排水路は整備されているが、糸満市側は未舗装のため大雨時に路面の浸食などで通行に支障を来し、周辺の農地では豪雨時に冠水被害が発生している。幾度となく県と協議を重ねており、幾つかの採択要件はあるが、現時点に



保栄茂地区への農道

において県営事業として整備するにあたり、農業基盤整備促進事業を活用し、農道舗装及び排水路整備に向け令和8年度新規採択を目指している。

新垣 農業基盤整備促進事業の補助率等について伺う。

経済部長 国が80%、県が13%、市費負担は7%となる。農道舗装工事は糸満市が全額負担し、幹線排水路改修工事については両市で流域面積の比率により負担する。

新垣 舗装工事はなぜ糸満市が全額負担するのか。

経済部長 豊見城市行政区域内の支線農道は豊見城市単独でアスファルト舗装工事が完了しているためである。

新垣 阿波根地域の農業振興に寄与することから市単独にはなるが、県営事業と併せて早期の事業化に取り組んで頂きたい。

ガメラレーダーについて



山城 渉 議員



①ガメラレーダーの役割と機能。②台湾有事との関係性。③ガメラレーダーは危険物であるのか伺う。

企画部長 ①役割は日本の弾道ミサイル防衛体制で3次元の空域を監視し、機能は全周の警戒、弾道ミサイルの探知、追尾、警戒監視などがある。②どう対応するか承知していない。③弾道ミサイル攻撃に対し、純粹に防衛的、かつ、代替手段のない唯一の手段として整備したことから危険物には該当しないと考える。

山城 台湾有事との関係は承知していないとあったが、このレーダーは追尾をするとの話もあった。狙われないか。

企画部長 皆無ではないが攻

撃施設ではないため可能性は低いと判断している。

山城 レーダー近くの地域は危険だと認識しているか伺う。

企画部長 現時点で危険な地域とは認識していない。

山城 台湾有事に向け国とレーダー近くの地域の公民館をシェルター化するとか市民を守る行動をする考えはないか。

企画部長 内閣官房国民保護ポータルサイトでは沖縄県の島外避難施設の体制づくりに資するよう国が特段の配慮をすることが必要とされている。本市の国民保護計画では市内に地下シェルターを整備する計画はない。

山城 何が起るか分からない状況であり、少なくとも近隣がどう対応するのか検討してほしい。それが市益を守る行政の仕事であると思う。



J/FPS-5(通称ガメラレーダー)

◆◆◆ 令和7年 第4回定例会議案等処理結果 ◆◆◆

事件番号	件 名	議決結果
議案第58号	令和7年度糸満市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第59号	令和7年度糸満市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第60号	令和7年度糸満市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第61号	令和7年度糸満市水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第62号	令和7年度糸満市下水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議案第63号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第64号	工事請負契約の変更契約について(武富地区急傾斜地崩壊対策工事(1工区))	〃
議案第65号	財産の取得について(G I G Aタブレット等整備事業)	〃
議案第66号	糸満市教育委員会教育長の任命について	同 意
議員提出 第 3 号	戦後80年糸満市議会平和宣言について	原案可決
	避難所となる学校体育館への空調整備の陳情	採 択
	「30人以下学級早期完全実現」のための意見書採択を求める陳情	〃
	「義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元」のための意見書採択を求める陳情	〃
	沖縄を再びいくさば(戦場)にさせないための陳情	〃
	パートナーシップ・ファミリーシップ制度に関する陳情書	〃
	学校給食費の無償化の実現を求める要請	〃
	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の日本政府への提出についての陳情	〃
	高額療養費制度の負担上限額引き上げの撤回をもとめる陳情書	〃
議員提出 第 4 号	高額療養費制度の負担上限額引き上げの撤回を求める意見書の提出について	原案可決

令和7年第4回定例会 議案等に対する議員の賛否一覧（全会一致を除く）

※「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「除」：除斥 「退」：退席 「―」：議場に不在 「停」：出席停止 「議」：議長（議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません）
糸満市議会議員 条約定数 21人
※【会派名略称】兼城：兼城クラブ 公明：公明党 市翔：市翔クラブ 南海：南海クラブ 日々：日々草 共産：日本共産党 結び：結びの会 良徳：良徳系会 無：無会派

議案等番号	件名	議決月日	議決結果	出席者数	表決者数	賛成者数	反対者数	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		21
								日々	日々	兼城	共産	共産	無	市翔	市翔	兼城	良徳	無	結び	兼城	公明	公明	南海	南海	南海	結び		良徳	
								大城むつみ	関屋安利	山内竜二	前田潤	浦崎暁	伊敷郁子	玉城博光	金城一文	長嶺安浩	玉城良	平田健人	金城悟	金城寛	新垣安彦	金城幸盛	山城渉	西平賀雄	黒島新	金城敦	欠員	徳元敏之	
陳情	沖縄を再びいくさば(戦場)にさせないための陳情	6月20日	採択	19	18	14	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	欠		×
陳情	女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の日本政府への提出についての陳情	6月20日	採択	19	18	14	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	欠		×